

伝統文化シネマ

民俗芸能の心シリーズ

鬼来迎

鬼と仏が生きる里

文部科学省選定

2013年制作・HD作品／カラー／38分

伝統文化シネマとは

人間国宝の卓越したわざ、各地域に伝承されてきた民俗芸能・行事は、時代を超えて私たちに語りかけてきます。このような優れた無形の伝統文化を、「伝統工芸の名匠」「伝統芸能の粋」「民俗芸能の心」シリーズとして記録映画を制作しています。

人間国宝の卓越したわざ、各地域に

Pola Foundation for the Promotion of Traditional Japanese Culture

公益財団法人 ポーラ伝統文化振興財団

<http://www.polaculture.or.jp>

きらいごう ほぞんかい
鬼来迎保存会

千葉県横芝光町虫生地区に伝わる鬼来迎は、平安中期に始まった来迎会の儀礼を受け継ぎ、さらに墮地獄の恐怖を見せて来迎の有難さを実感させるように描かれた仮面劇。この集落の人々が代々、伝承に献身してきた。現在も、集落25戸の保存会会員たちによって、毎年、施餓鬼会の後、8月16日に演じられている。昭和39年、保存会設立。昭和31年に千葉県無形文化財指定、昭和51年には重要無形民俗文化財に指定された。第30回伝統文化ボーラ賞地域賞受賞。

企画 公益財団法人ボーラ伝統文化振興財団
製作 株式会社 桜映画社
監修 三隅 治雄(芸能学会会長)

●製作スタッフ

製作 山本 孝行
脚本・監督 村山 正実
片岡 希
井上 実
撮影 山屋 恵司
中井 正義
西島 房宏
木村 光男
今野 聖輝
加藤 昌義
照明 佐藤 大和
池田 義郎
録音 門倉 徹
鈴木 修二
山谷 明彦
河崎 宏一
寺本 智哉
編集 石井香奈江
選曲 徳永由紀子
撮影応援 栗原 龍一
土井 康一
MA 東京テレビセンター
題字 深田あけみ
ナレーター 草笛 光子

●制作協力

鬼来迎保存会
広済寺
横芝光町教育委員会
横芝光町虫生のみなさん

文化庁

京都国立博物館
千葉県教育委員会
香取市教育委員会
成田市教育委員会
下総歴史民俗資料館
横芝光町立南条小学校
迎接寺
浄福寺
當麻寺
聖衆来迎寺

Freer Gallery of Art, Smithsonian Institution,
Washington, D.C.

万作の会

青木 信二

花澤 信幸

(順不同、敬称略)

鬼が仏の来迎劇

「地獄で仏に逢う」とは、危難の際に思わぬ助けを受けた喜びをいう諺ですが、千葉県山武郡の農村虫生の里に伝わる「鬼来迎」は、まさしく地獄で苦しむ亡者が地蔵・観音両菩薩に逢って助けられ極楽に送られるさまを描いた仮面劇です。

「来迎」とは、人が死ぬとき、仏・菩薩が枕辺まで迎えに来て下さることを言い、平安時代中期、恵心僧都源信が浄土教普及のために、人に仮面を被らせてその情景を演じさせた法会が初めて、各地の寺院で催すようになりました。しかし、より深く仏の慈悲の有難さを実感させようと、前段に地獄で鬼の呵責を受ける場面を設けて、そこへ、仏・菩薩が来迎する…との構成に膨らませたのが「鬼来迎」誕生の契機だったと思います。虫生以外の寺院にも同種の仮面劇がかつておこなわれ、地獄描写の劇も過去にあるので、虫生が発祥地とは思えず、かつ現在の演出に歌舞伎風な潤色のあるのを見ると、炎天に汗して励んで来た虫生二十五戸の代々が、内に溜めた情熱を先祖伝来の仮面劇にそそぎ、元を大事に削り直し練り改めしながら、唯一独自の宗教仮面劇に創り上げた歴史が偲ばれます。

鬼が主役の地獄芝居と見えながら「鬼・来迎」と名乗るのは、鬼もまた亡者を責め鍛えて極楽へ送るために来迎した尊者の化身と見たからかと想像し、そう感じさせる虫生の人々の、老若こそつての清々しい伝承の姿に心洗われるわれわれです。



大切に伝えられてきた舞台幕



月夜の下 舞台前日の稽古



迎講のルーツ奈良県當麻寺練供養



「釜入れ」



「賽ノ河原」



鬼婆による赤ん坊の疳の虫封じ



黒鬼



「死出の山」



赤鬼

映画内容

千葉県山武郡横芝光町虫生には、数世紀にわたり仮面劇・鬼来迎が伝えられてきた。それを支えているのは、わずか25戸の集落の人々である。毎年8月16日施餓鬼会のあとに演じられる「鬼来迎」に向けて大人も子供も、里人たちが心をひとつにしていくさまを丹念に記録。里人たちの生活と共にある民俗芸能の姿を描きだす。